

## とべ動物園で地域内循環モデルを学ぶ

## 地域内循環モデルについて学ぶとべ動物園

動物園には、「種の保存」、「教育・環境教育」、「調査・研究」、「レクリエーション」という4つの役割があります。

とべ動物園では約148種633点(2022年12月31日現在)の動物が、地理学、分類学、行動学にもとづきバランス良く集められており、接滅危惧種の繁殖にも力を入れています。

また、とべ動物園では動物園にはめずらしい堆肥場や污水处理場を併設しており、堆肥は園内だけでなく地域で、処理した汚水は中水として活用しています。

本プログラムでは、普段は見るできない堆肥場や污水处理場、バックヤードを視察します。ゾウの糞から作る堆肥の循環、キリンなど草食動物の餌となる樹木の調達、そして動物のための菜園など、地域内循環モデルの取り組みを学びます。園内を回った後は、地域内循環を考えるワークショップで自社の取り組みを考えるプログラムです。

当プログラムを通して、SDGs目標「⑦エネルギーをみんなに そしてクリーンに」「⑩つくる責任 つかう責任」「⑮陸の豊かさを守ろう」を学びます。



キリン舎で給餌体験(イメージ)



レクチャー(イメージ)

フィールドワーク(イメージ)

## ▶ならではポイント

とべ動物園の活動を題材とした体感型SDGsプログラム。レクチャーに加え、普段は入れないバックヤードに入り、とべ動物園が推進する循環型の取り組みを学びます。

とべ動物園のオリジナル企画です。

### ▶プログラムの流れ・タイムスケジュール・メニュー等

#### ●スケジュール

〔午後 13:00~15:00 120分〕

**13:00~13:05** 入口ゲート前に集合し簡単なあいさつ

**13:05~14:00 (55分)** 堆肥場・汚水処理施設へ移動、施設の視察

- ・動物園で出る廃棄物について
- ・堆肥場・汚水処理施設を作った目的
- ・地域内での循環について
  - ⇒肥料循環の仕組み（施設内で使用、地域の人へ販売する等）
  - ⇒地元の農家等からの野菜受け入れの取り組み

**14:00~15:00バックヤードツアーと振り返りワークショップ (60分)**

- ・園内ガイドとキリン舎またはアフリカゾウ舎のバックヤード見学
- ・振り返り
  - ⇒動物園を普段とは違う視点から体験することで得られた学び
  - ⇒園内ガイドなど動物園スタッフのプレゼン能力から学べること
  - ⇒動物園のさまざまな取り組みをもとに、自社ができることを考える

#### ■持参物・服装

マスク必須、筆記用具、多少汚れても良い服装、サンダル・下駄不可



堆肥場の視察(イメージ)



汚水処理場の視察(イメージ)

### ▶その他補足情報

- ・所要時間120分
- 堆肥上、汚水処理施設視察55分+バックヤードツアー・レクチャー・ふりかえり60分
- +オプションで園内自由行動
  - ・対応可能人員:5~40名
  - (5名以下又は40名以上の場合は応相談)
- 設定時間:午後のみ 13:00~15:00
- ・設定期間 2024年4月~2025年3月
- ・設定除外日 土、日、祝日、休園日(月曜日)、お盆、年末年始(12/29-1/1)

### ▶交通アクセス

- 松山空港より車で約30分
- JR松山駅より車で約35分
- 松山観光港より車で約40分
- 道後温泉より車で約35分
- 大街道より車で約35分